

暮らしの新聞

(昭和47年9月30日第三種郵便物認可・隔週金曜日発行1部50円)

■配布エリア…川西市／三田市／宝塚市／西宮市／篠山市／豊能町／猪名川町【合計102,113部】

道を極めれば“心で生きて行く”

能勢武勇館剣道会

川西市

川西市の東谷小学校体育館で、毎週火曜と土曜日に剣道の練習をしている「能勢武勇館」は、昭和8年に初代館長となった西尾正七さんが、地域青年団活動を目的として創設しました。今も幼稚園から大人までの剣士が、その歴史を引き継ぎながら稽古に余念がありません。

静かな空気が流れる中、突然場内に響きわたる、お腹の底から出される独特のかけ声……。パンパンと竹刀の打ち合う音……。ドゥ・コテ、小学生低学

「能勢武勇館」ですが、この道場には、地元の子供たちが参加していました。この道場には、地元の子供たちを中心に西宮や石橋かたちを中心とした子供たちが通う子もいます。そんな熱心な活動を続けている結果、今までに全日本少年武道練成大会で2回の優勝(優秀賞)や県大会優勝2回をはじめ、様々な大会で多くのりばな成績を残し

多くなっています。昭和47年から館長を務める山川重雄さん(練・6段)は「あの子が頑張っているから私も頑張ろうという気持ちにさせる仲の良いライバルを作ること、好きな教科を楽しくすること、そして意技を見つづけること、そしてしっかりとした目的を持つ

「川西市教育委員会勤務) 剣道は剣を使うスポーツだけにルールや礼儀をとて大事にします。これは生命を大切にすることにまつながります。剣道には人間心、思いが詰まっています。能勢武勇館では、練習開

「お母さんたちは「剣道を始め、集中心力というか粘りが出て来た、やるとなるとガッツといくようになりました」、「これから午後6時から入会説明会が

「よ」と剣道の楽しさにハマった子供を喜ぶ人も。練習を終えた小学生からは「目標は全国優勝です」という元気な言葉も飛び出していました。

「流」心で生きて行く」という言葉が印象的でした。山川さん自身も「剣道は求めても、求めても、道がある」と言います。剣道とともに成長し、最後は無刀

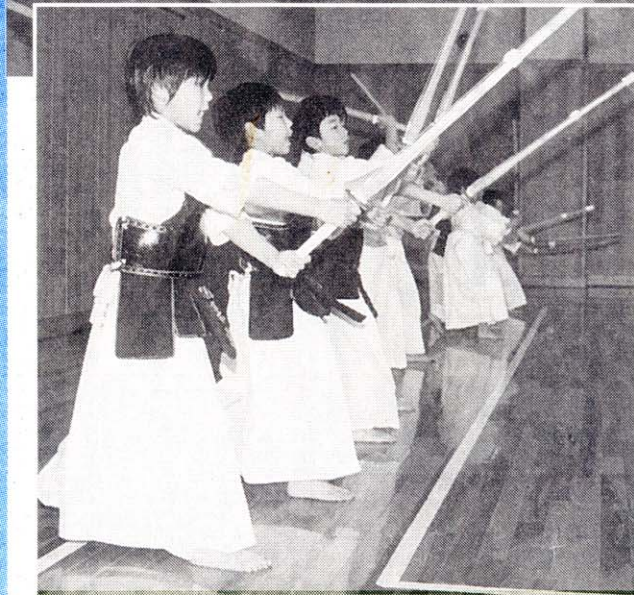
山川さん自身も「剣道は求めても、求めても、道がある」と言います。剣道とともに成長し、最後は無刀

山川さん自身も「剣道は求めても、求めても、道がある」と言います。剣道とともに成長し、最後は無刀

みんなガンバレ スポーツ仲間



▲真剣に山川さんの指導を聞く子供たち



▲エイッ、初心者の子供たちも元気いっぱい

今号の紙面PICK UP

- 春の能勢路は楽しさいっぱい(8・9面)
- 未来へはばたけ—猪名川町制50周年(6・7面)
- 丹波築山で「さくらまつり」(5面)
- まちの催しいろいろ・関関同立速報②

072(794)8132